

JPOS コホート研究を用いたサルコペニア発生におけるアグリン分解産物の測定意義

1. 研究の対象

平成8年より開始した Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) コホート研究の対象者で、平成23および24年に香川県さぬき市、福島県西会津町、新潟県上越市、北海道芽室町で実施された追跡調査の受診者のうち、65歳以上の者。なお、JPOS コホート研究の対象者は女性のみです。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、サルコペニア発生予測における血液中のアグリン分解産物濃度の有用性を検討することです。

平成23および24年に実施されたJPOS コホート研究追跡調査で収集された凍結血清を用いてアグリン分解産物濃度を測定し、同調査時のプレサルコペニアもしくはサルコペニアの有無と関連するか否かを検討します。さらに、平成23および24年の追跡調査時のアグリン分解産物濃度が、平成27～29年追跡調査時のプレサルコペニアもしくはサルコペニア発生と関連するか否かも検討します。アグリン分解産物濃度の測定は、本学公衆衛生学教室内で実施します。

研究期間 倫理委員会承認～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：JPOS コホート研究の平成23, 24年調査で採取された凍結血液

情報：JPOS コホート研究の平成23, 24年調査ならびに平成27～29年調査で収集した年齢、身長、握力、歩行速度、筋肉量等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関である大阪医科大学に記録媒体を手渡しすることにより情報提供を行います。氏名など個人を特定できる情報は、識別番号以外は削除します。電子データはパスワードで保護し、特定の関係者以外が情報にアクセスできない状態とします。個人と識別番号の対応表は研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者：近畿大学医学部公衆衛生学・教授 伊木雅之

研究分担者：近畿大学医学部公衆衛生学・医学部講師 由良晶子

近畿大学医学部公衆衛生学・助教 立木隆広

近畿大学医学部公衆衛生学・准教授 甲田勝康

研究協力者：大阪医科大学衛生学・公衆衛生学・講師（准） 神谷訓康
大阪医科大学衛生学・公衆衛生学・教授 玉置淳子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧していただけます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、対象者もしくは対象者のご家族にご了承いただけない場合は研究対象といたしませんので、お申し出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 近畿大学医学部公衆衛生学・教授 伊木雅之

住所：大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221（内線：3272）

メール：pbl-h@med.kindai.ac.jp

研究代表者：近畿大学医学部公衆衛生学・教授 伊木雅之